

いまにし としゆき

今西 利之

外国語学部 准教授
修士(文学) / 神戸市外国語大学ホームページ URL
なし

主な研究業績

- 今西利之・渡辺史央(2017)「外国人家事支援人材に対する日本語教育シラバスの提案ー「掃除」「洗濯」業務での能力記述文と語彙・表現リストの作成ー」『専門日本語教育研究』19号(専門日本語教育学会) pp.41-48
- 今西利之(2016)「大学生が書く『やさしい日本語』による文章の特徴について」『変化する国際社会における課題と可能性』(第10回国際日本語教育・日本研究シンポジウム大会論文編集委員会編) pp.
- 今西利之(2012)「『税金』『年金』にかかわる語彙の分析ー『やさしい日本語』による文書の作成に向けて(その2)ー」『熊本大学国際化推進センター紀要』3号(熊本大学国際化推進センター) pp.1-15

キーワード

日本語教育学、現代日本語学

研究テーマ Research theme

外国人家事支援人材に対する日本語教育・日本語学習支援プログラムの開発

概要 Overview

本研究では、「労働分野における外国人材の活用」を円滑に行うための基盤としての日本語教育研究の一つとして、政府が進める「特区における家事支援人材の受入れ」に資するため、外国人家事支援人材への効果的な日本語学習支援を目指し、企業との協働により、家事支援業務の遂行に必要な日本語能力を明らかにした上で、一定の質が担保された効果的かつ持続可能な日本語学習プログラムを構築します。

政府は、少子高齢化・労働人口減少への対応策として、労働分野における外国人材の活用を打ち出しています。平成26年6月に閣議決定された『日本再興戦略改訂2014』では、その一つとして「特区における家事支援人材の受入れ」が打ち出されました。現在、大都市圏において実施されており、今後、渡日・入国者の増加、新たな特区活用自治体の指定、さらには、外国人家事支援人材事業の「全面解禁」が予想されます。

本研究における外国人家事支援人材とは、「第一号」適合事業者の管理のもと特区において家事支援労働を行うことを目的とし「特定活動」の在留資格で我が国に在留する外国人のことで、その業務内容は、炊事・洗濯・掃除・買物・児童の日常生活上の世話及び必要な保護・その他、家庭において日常生活を営むのに必要な行為とされ、その中には、高齢者などを含む家庭における要介護者などの付き添いや手伝いも含まれています。

日本語学習プログラム及び日本語学習支援のモデルの構築とは、具体的には、日本での業務遂行のために必要となる最低限の日本語能力を身につけるための就業前研修における日本語教育カリキュラムの策定、就業後の研修や自律的学習におけるキャリアアップのための日本語学習プログラムの策定、及び研修・自律的学習を可能とするための教材・教具などの開発です。

応用分野 Application areas

「技能実習」「特定技能」等の在留資格で日本に滞在し、産業界のさまざまな分野で実習・労働を行っている外国人(日本語非母語話者)への分野別日本語学習支援プログラムの開発

共同研究等へのニーズ Need for joint research

産業界のさまざまな分野での外国人(日本語非母語話者)による日本語学習の現状や必要とされる日本語による言語行動と具体的な日本語能力に関する調査。

グリーンイノベーション

ライフイノベーション

情報通信技術

数物系科学

社会科学

人文学